



人員削減計画の見直しを



岸野 雅人



問 「雪國」と「北越雪譜」は教育にどう活かされるのか。

答 5年生から中学3年生の資料集下巻に記載、『高半・かすみの間』見学も行う。

国語の授業でも、文学的な視点から読み解くことができなにかを検討している。

問 企業広告の募集を目にしていない。行政に明

るさやスピードが感じられないが。

答 精一杯やっているが、その通りかもしれない。

質 行政の情報発信と観光宣伝に「SNS」の活用を

答 急速に普及している有効な手段であると理解している。また研究の必要を感じている。昨年6月から試験的な活用をしている。

問 その感想と成果は？

答 今日初めて見た。私が見えなくてもよいと感じた。（この後総務課長の補足答弁）

質 スキー場安全条例を制定すべき

問 条例の制定によりスキー場側と個人の責任を明確にし、トラブルを未然に回避したり捜索救助費用の請求も行っている自治体がある。当町もこれに学び体制を整えるべき時にきていると思うが。

答 村営スキー場が一つの、野沢温泉村とは事情が違う。指導や対応にあたっては、現状では問題ない。ただ、今年はスノーボーダーが津南の方まで行ってしまった。

問 スキー場からの遭難・捜索がニュース報道で流れます。一つには「遭難者と捜索隊の命の問題」。もう一つは、「観光地としての信用の問題」。できない言い訳の前に、意欲はないのか。努力はしたか。

答 確かに『湯沢町』と報道されてしまう。キチンとしたものを持つていくべきだろうと私も思う。来シーズンに向けて検討する。

質 空き家対策に条例が必要

問 この冬、空き家の雪庇が張り出し、通学路にも影響があった。安全面での不安は冬期の方が増す。空き家対策に真剣に取り組まねばならないと思うが。

答 必要性は感じている。法的な問題や費用負担の課題があり進んでいないが、次の冬に間に合うよう進めたい。

質 人員削減計画の見直しを

問 人口が減るから、財政力が弱いから理由に人員削減が進むのは乱暴だと思ふ。

問 平成28年度には定員を130人とする根拠は何ですか。

定住人口プラス労働人口、さらに年間400万人が訪れる町。何人の行政府を目指すのではなく、どんな行政府を目指すのが問われている。

答 一概に数字だけで判断できない。町民の迷惑にならぬよう取り組みたい。

今のままでは、暗く小さく萎んでしまうように思えてならない。町長の考えは。

問 現在の『定員適正化計画』の見直しは。

答 現在がアップアップの状況であれば、見直しなければならない。

問 平成28年度には定員を130人とする適正化計画を実施してきた。想定外の退職者や療養中の人もいて、余裕はないが、人件費の抑制は常に求められている。

答 確かに『湯沢町』と報道されてしまう。キチンとしたものを持つていくべきだろうと私も思う。来シーズンに向けて検討する。